

P10

プロポリス加工食品『桑ポリス™』液の糖尿病患者に対する臨床効果（第三報）

○今村厚志（今村泌尿器科）、八並 一寿
福田 栄一（玉川大学農学部応用生物化学科）

【目的】第2回の本学会にて、『桑ポリス™』液を α -G剤を半年以上服用して改善がみられない糖尿病患者3例に使用したところ、血糖値の改善傾向を認めた。さらに第3回の本学会で、『桑ポリス™』液を糖尿病患者6例に使用したところ、1例に血糖値、HbA1c、GA、1,5AGが改善し効果を認めた。今回は、『桑ポリス™』液の糖尿病患者（2型DM）に対する臨床効果、とくに自己のインスリン量の変化について検討した。

【材料】高濃度の桑茶エキスとブラジル産プロポリスを配合したプロポリス加工食品『桑ポリス™』液（株）クワポリス製を使用した。

【方法】『桑ポリス™液』（30ml）を、糖尿病患者5名に、一日3回1スプーンずつを食事とともに1ヶ月間摂取してもらった。採血日は投与前、摂取1ヶ月後、その後摂取せず1ヶ月後（2ヶ月後）の計3回行った。

【成績】5名中1名は皮疹のため中止した。空腹時インシュリン値は4名中3名（ α -G剤内服なし）は上昇したが（症例1：15.3→17.9→14.7、症例2：11.6→15.3→12.8、症例3：27.0→30.7→24.9）、1名（ α -G剤内服）は低下した。HbA1c値は4名とも低下した（症例1：5.8→5.7→5.8、症例2：6.4→5.8→5.7、症例3：7.0→6.5→6.3、症例4：8.1→6.9→6.4）。FBSは、症例1：112→121→104、症例2：68→74→72、症例3：120→76→108、症例4：260→98→172であった。なお、肝機能および脂質代謝には変化を認めなかった。

【結論】『桑ポリス™液』は自己インシュリン値を上昇させ血糖降下作用を示した。その原因として α -グルコシダーゼ阻害作用による糖毒性の改善が示唆された。さらに症例を追加する予定である。